

もしもの時、「命を守る行動」をとるための**3つのポイント**

1 情報を集める

6月1日からリニューアル ホームページ「防災情報北九州」

市の防災ホームページ「防災情報北九州」のデザインを一新し、情報の取りやすさを意識した画面構成に改良。土砂災害の危険度や避難情報が分かるほか、避難所の開設の有無や混雑具合などもリアルタイムに把握できます。

「防災情報北九州」は
コチラから▶



近年、毎年のように全国各地で自然災害がおき、これまでに経験したことのない、予想を超えた被害が発生しています。市民の皆さんの安全・安心を確保するためには、避難指示などの防災情報をこれまで以上に、一人一人に確実に伝える必要があります。今回のリニューアルを機に、市民の皆さんが迅速に避難行動ができるようにいっそうの情報発信を行っていきます。

危機管理室危機管理課 松永 信介係長



▲「防災情報北九州」画面イメージ

テレビで災害情報を簡単入手 テレビのdボタン

データ放送に対応しているテレビでは、dボタンを押すことで、雨の情報や河川の情報を確認することができます。また、KBC(九州朝日放送、1チャンネル)の「dボタン広報誌」でも、お住まいの地域に開設中の避難所情報を確認することができます。



※お使いのリモコンにより
ボタンの位置は異なります。

もらって安心災害情報配信サービス

気象情報や避難情報、地震情報、消防車の出勤などをメールで携帯電話やパソコンに配信。



▲「もらって安心災害
情報配信サービス」は
コチラから

空メールを送信し事前登録してください
e-kitakyushu@xpressmail.jp へ

北九州市公式LINE

災害発生の恐れがある場合に、防災情報を優先したメニュー画面へ切り替わるため、発令中の避難情報や開設中の避難所の最新情報を簡単に確認することができます。



▲「北九州市公式LINE」
はコチラから

2 「逃げよう!」の声かけ

小雨くらいと思っていたら突然雨あしが強まり、気象情報でも警戒を呼びかけている…でも、どう行動したらいいか迷うときもあります。そんな時、「逃げよう!」と声をかける地域の人がいたから避難行動をとることができた人もいます。「早く避難して」と遠方に住む家族からの電話で避難した、という人もいました。そうした声かけで逃げ遅れを防ぐことができます。



被災者の声

「最初のうちは、強い雨が降っているぐらいに思っていました。ところが、瞬く間に水かさが増し、樹木が崩落。短時間のうちに水があふれ、避難したくても家から出られない状態になりました。」と話すのは、甚大な被害をもたらした「平成29年7月九州北部豪雨」を経験した朝倉市の日隈繁夫さん。「災害は、いつどこで起こるか分かりません。全国どこでも、発生しうる。そのことを決して忘れるべきではありません。」



▲平成29年7月九州北部豪雨
で被災した家屋

参考:改訂版 福岡県防災ハンドブック

3 逃げる訓練

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。災害のとき、適切に避難ができるようにするために、避難場所や避難経路を理解しておくことが大切です。地域や区ではさまざまな防災訓練が行われています。詳細は、お住まいの区役所総務企画課へ問を。



地域の防災活動を市が支援します!

「防災」は地域みんなに共通するテーマ。地域が開催する「地区Bousai会議」には、自治会や学校、福祉施設、外国人、学生など地域のさまざまな人が参加できます。市では、会議に専門家を派遣して地域の特性に合った「地区防災計画」の作成や防災訓練などを支援しています。詳細は、危機管理室危機管理課に問を。



【この特集に関するお問い合わせ】危機管理室危機管理課 ☎582・2110